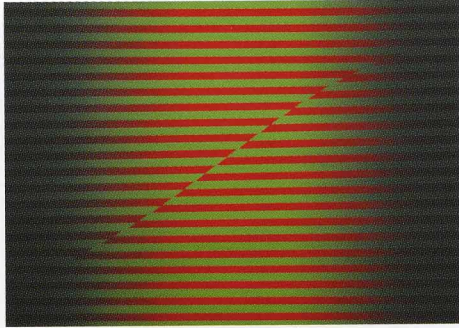
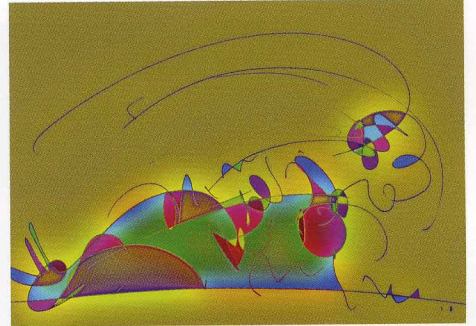


TRANSFORMATION No.127



COLOR CONCEPTION No.160



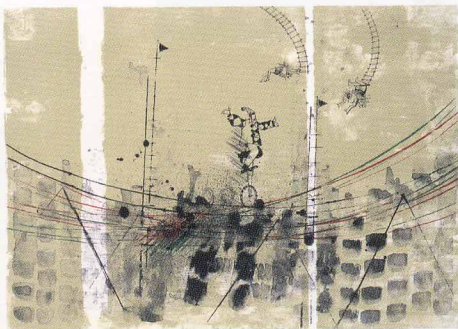
muku muku

版画展

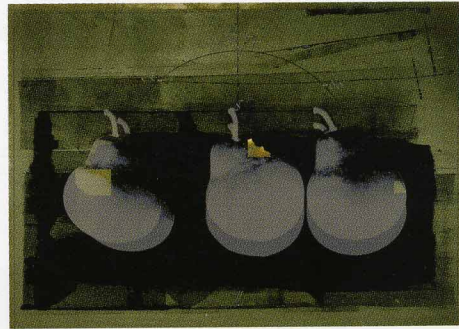
1970年代から80年代にかけて、京都では爆発的に版画ブームが巻き起こります。それは京都市立芸術大学に版画の講座が設けられたこと、シルクスクリーンプリントの技法が普及したことによるものでした。シルクスクリーンプリントの登場は、それまでの大量印刷の世界から、少量の印刷をも可能にするとともに、個人のイメージ世界を増幅し版画の可能性を拓げていくことになります。この新しい版画の表現には、美術作家だけでなく、数多くのグラフィックデザイナーたちも挑戦し、

70年代の京都の美術界を活気あるものになりました。

本展の大原雄寛・田積司朗もその当時から、京都のグラフィック界でデザイナーとして活発な活動をしなが、一方で個人作家として版画作品を発表し続けてきた二人です。独自の色彩世界を展開する大原作品。洒落な線によるイメージを中心に展開する田積作品。今回は、新旧約30点の版画作品により、かつての熱い版画の時代を再現いたします。是非、ご高覧ください。（キュレーター 辻喜代治）



タイトロープ CIRCUS=私はピエロ



Pear [洋梨]



Vibrato III ピアノ 素描

大原雄寛 成安造形大学 教授 イラストレーションクラス

「シルクスクリーンによる版画制作を手がけてもう30年以上になる。単純明瞭なフォルムに画面を仕立てると、色彩の豊かさがたまらない魅力を生み出す。近年はインクジェットプリンターをよく使う。発色もよく、用紙も豊富に選べるようになったからだ。専用紙でなくとも、二度塗りなどを試すと、鮮やかさはなくとも深い発色が得られる。なかなか頼もしい道具だと思っている。」

- 1980年 京都日本画洋画版画選抜展 京都府賞上賞
第32回「京展」版画部門 美術懇話会賞
- 1981年 第33回「京展」版画部門 市長賞/リュブリアナ国際版画展
- 1982年 カナダ美術賞展
- 1984年 第36回「京展」版画部門 市長賞
- 1967-90年 個展17回
- 1980-03年 モダンアート協会会員
- 2000年 芸術祭典・京 ポスター制作
dpiグループ展出品/その他 びわこデザイン文化協会展・公募展・グループ展・広告・パッケージ・ロゴマーク制作など多数。

田積司朗 成安造形大学 教授 グラフィックデザインクラス

「70年代初頭から、デザインと一線を画した創作活動をはじめ。幾何学的な線とは異なったドローイングのテクニックを展開し、直感を基本に視覚効果をもたらした表現。スクラッチ、マーブリング、コラージュやスライディング技法がイメージを浮かせ、形象を重ね置く空白の紙をよごし始めるフリーク画。どこへ行き着こうとかわず創作の過程を追い求めている日々。版画もメディアのひとつである。」

- 1974年 第26回「京展」版画部門 美術懇話会賞
- 1998年 「日本版画展」 東京都美術館、以後出展
- 1999年 「新生1999京展」 版画部門 須田賞 京都市美術館
- 2002年 「第14回現代版画コンクール展」 出展 大阪府立現代美術センター
「第2回京都美山絵画コンテスト」 毎日新聞社賞
「第12回花美術大賞展」 受賞
- 2003年 KYOTO版画2003「日本・ブルガリア国際版画展」 京都市美術館 別館
- 2005年 KYOTO版画2005「日本・タイ国際版画展」 京都市美術館 別館
「絵と陶」二人展 沖縄・リウボウ 美術サロン
個展「版画作品」京都・東京・秋田・函館・沖縄、開催/他グループ展多数

会期：2006年6月21日[水]—7月5日[水]
12:00—18:00 *日曜休廊

会場：成安造形大学ギャラリー「アートサイト」
〒520-0248 滋賀県大津市仰木の里東4-3-1 TEL:077-574-2111
※会場へは、JR湖西線 雄琴駅よりスクールバスをご利用下さい。

成安造形大学ギャラリー アートサイト
ARtsite

